

TOPICS

第6回奈良県観光PR大賞選考会が行われる ～最優秀賞は小学館「サライ10号」に～

奈良県の観光情報に関する記事・広告の中から奈良県観光のPRに多大な貢献のあったものを表彰する「奈良県観光PR大賞」の選考委員会がこのほど行われ、16の応募作品の中から最優秀賞をはじめ8作品が選考されました。受賞作品は、世界遺産、宿泊の旅、仏教、奈良の花の魅力などそれぞれ独特な切り口から奈良の観光魅力を発信する粒ぞろいのものでした。

■奈良県観光PR大賞について

「奈良県観光PR大賞」は、全国のマスコミ等により発信された奈良県の観光情報に関する記事・広告の中から、奈良県観光のPRに多大な貢献のあったものを表彰し、併せて話題づくりとさらなる記事・広告等を誘発し、誘客の促進を図ることを目的として、平成12年からスタートしたもので、今年で6回目を数える。

■対象作品

平成16年中に発表された、全国のマスコミ等の記事・広告等の中で、奈良県の観光情報に関するもの（奈良県内のみの読者、視聴者を対象にした記事・広告等を除く）。

作品ノミネートについては、広く一般から推薦してもらうという形で公募し、今回は、雑誌12作品、書籍1作品、テレビ1作品、インターネット1作品、パンフレット1作品の合計16作品の応募があった。

■選考方法

今回の選考委員会は、去る3月23日（水）に吉野郡吉野町の吉野町中央公民館で行われ、5名の選考委員に、公募による見学者21名が一般選考委員として加わるという形式で実施された。

■選考委員

・選考委員長

西川 りゅうじん氏

（マーケティングコンサルタント）

・選考委員

宋^{ソン} 茜^{チェン}氏（ソプラノ歌手）

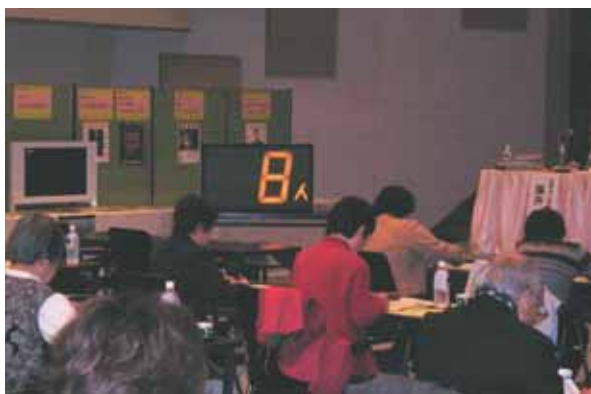
中田 弘司氏（イラストレーター）

朝廣 佳子氏

（NPO法人なら燈花会の会前会長）

福井 良盟氏

（（社）奈良県観光連盟副会長、吉野町長）



一般選考委員の投票は電子投票で行われた



選考委員の各氏

■選考結果及び選考理由

次の8作品が奈良県観光PR大賞各賞に選ばれた。

[最優秀賞]

サライ 10号「奈良 サライはこう旅する」
(株式会社小学館)

・選考理由

「世界遺産」「美術館」「伝統工芸」という3つの切り口で奈良を捉え、きめ細かい取材で奈良の魅力を紹介。別冊付録では「2泊3日の旅」を具体的なコース設定により特集。日帰りで楽しむ奈良といった記事が多い中で、宿泊型観光を特集した点が高く評価された。



[優秀賞]

SAVVY 11月号「ストーリーのある町 奈良」
(株式会社京阪神エルマガジン社)

・選考理由

13歳のモデル hanae さんが吉野山に点在する世界遺産を巡りながら旅日記を綴るという構成になっている。吉野を若者の視点で捉えるという手法が新しく、若者層へ吉野をPRした点が大きく評価された。



[入賞3作品]

別冊山と溪谷 ヤマケイ関西「大峰山脈・大台ヶ原」
(株式会社山と溪谷社)

・選考理由

昨年、世界遺産に登録された大峰山脈の山々や大台ヶ原の雄大な風景を美しい写真で紹介。登山コースも地図と詳しい解説文で読者にわかりやすく構成している。他紙を圧倒する専門誌ならではの山岳写真の美しさ、内容の緻密さが評価された。

週刊朝日百科「仏教を歩く」 (朝日新聞社)

・選考理由

各時代を代表する仏教にまつわる人物や僧侶を取り上げ、その足跡をたどることで仏教を再発見しようというシリーズ。仏教という視点から真正面に奈良を捉えることにより、あらためて奈良の歴史的な奥深さを知らしめた点が評価された。

花紀行「奈良花の名所 12ヶ月」

(株式会社山と溪谷社)

・選考理由

四季を通した奈良の花の魅力をもとめた。単に花の美しさを紹介するだけでなく、そこにある風景や歴史を交え紹介することにより読み物としての魅力もあり、特に女性層に訴えかける内容が評価された。

[その他の賞]

マスコミ等で取り上げられることの多かったインターネット作品「新日本三大夜景・夜景百選～若草山～」が特別賞に、大和郡山市の観光ボランティアガイドが外国人観光客に歴史的な背景を理解してもらおうと自費出版したパンフレット「CASTLE 城内ウォーキングガイド」が奨励賞に選ばれた。

また、首都圏方面に毎週金曜日のゴールデンタイムに奈良県の観光資源を紹介するテレビ番組「都のかほり奈良」(テレコムスタッフ株式会社)が、首都圏での奈良県のPR効果は計り知れないということで本賞初の「殿堂入り」と決まった。